

北方領土

語るたび

その四島^{しま}がまた

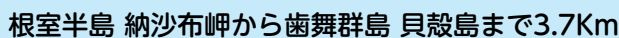
近くなる



独立行政法人 北方領土問題対策協会



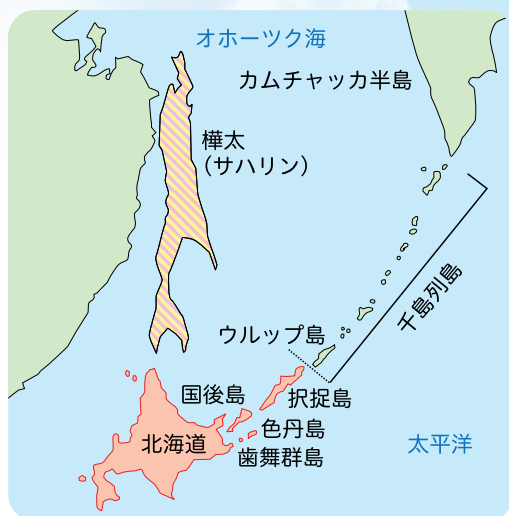
政府の外交交渉を支えるのは、私たち国民の強い意志です。北方領土の返還が一日も早く実現するよう、日本の主権が脅かされている現状に強く関心を持ち、行動していくことが重要です。





北方領土問題の経緯

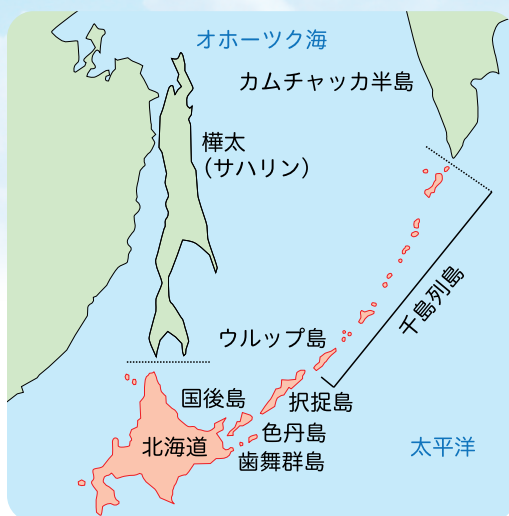
日本領 日本・ロシア混住地 ロシア／ソ連領 帰属未定



1

1855年(安政元年) 日魯通好条約

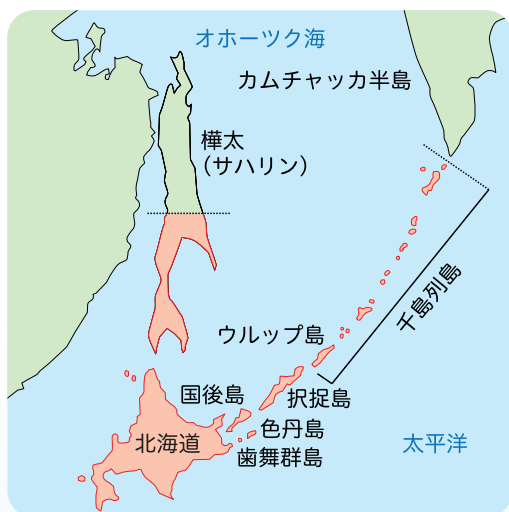
日露両国の国境は、択捉島とウルップ島の間に決められ、北方四島は日本の領土、ウルップ島から北の千島列島はロシア領として確認され、樺太はこれまでどおり両国民の混住の地と決められました。



2

1875年(明治8年) 樺太千島交換条約

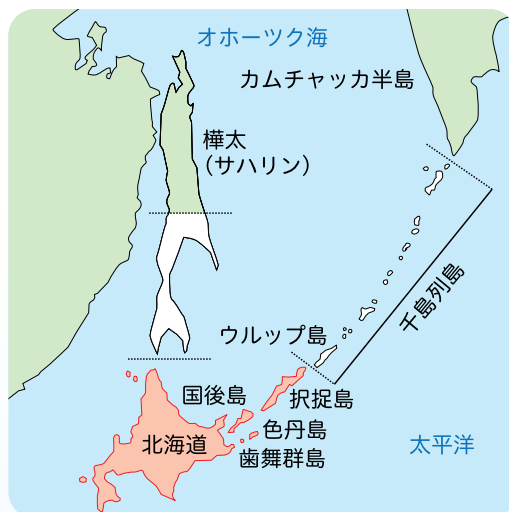
日本は、ロシアから千島列島を譲り受けるかわりに、樺太全島を放棄しました。日本に譲渡される千島列島の18の島名を一つ一つ挙げていますが、千島列島には北方四島は含まれていません。



3

1905年(明治38年) ポーツマス条約

日露戦争の結果、北緯50度以南の南樺太が日本の領土となりました。



4

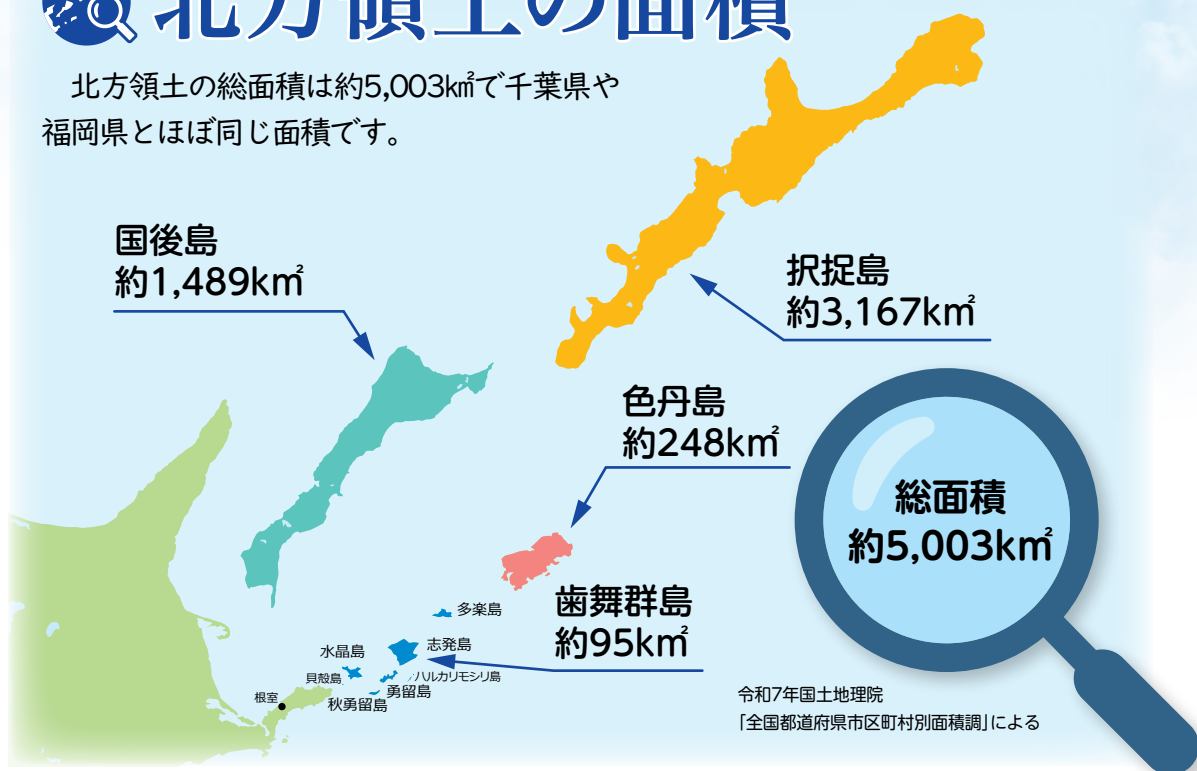
1951年(昭和26年) サンフランシスコ平和条約

日本は、千島列島と南樺太の権利、権原及び請求権を放棄しました。しかし、放棄した千島列島には北方四島は含まれていません。

以上の経緯からもわかるように、北方領土は、いまだかつて一度も外国の領土になったことがなく、歴史的にも、法的事実から見ても我が国固有の領土です。

北方領土の面積

北方領土の総面積は約5,003km²で千葉県や福岡県とほぼ同じ面積です。



北方領土の自然

北方領土の気温は、海洋気象の影響を受けて寒暖の差が緩やかです。冬の平均気温は零下5度か6度くらいで、いちばん暑い8月でも平均気温は16度くらいです。

北方領土の周辺海域は、コンブ、カニ、エビ、サケ、貝類などの水産資源が豊富で、アザラシ、ラッコ、イルカなどの海のは乳類が生息しているほか、エトピリカ、シマフクロウ、オジロワシなどの珍しい鳥類もみられます。

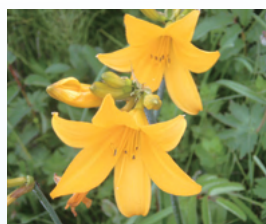
また、高山植物にも恵まれており、夏期になるとエゾカンゾウなどの花々が咲き、大変美しい景色を望めます。



ラッコ



イルカ



エゾカンゾウ



ハマナス



税庫前 (歯舞群島・勇留島)



穴澗湾 (色丹島)



爺爺岳 (国後島)



ビラ海岸 (択捉島)



北方領土の元居住者

■ 島々での生活

北方領土には、終戦時3,124世帯、17,291人(公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟調べ：昭和20年8月15日現在において6月以上北方地域に生活の本拠を有していた居住者の人数)の日本人が住んでいました。

北方領土は水産資源に恵まれ、多くの人は水産業で生計を立てていました。

元居住者の人数

島名	世帯数	人口
歯舞群島	852世帯	5,281人
色丹島	206世帯	1,038人
国後島	1,327世帯	7,364人
択捉島	739世帯	3,608人
合 計	3,124世帯	17,291人



児童・教師集合写真(歯舞群島・多楽島)



鮭漁(択捉島)



国後島の商店

写真提供：(公社)千島歯舞諸島居住者連盟

■ ソ連軍の侵攻

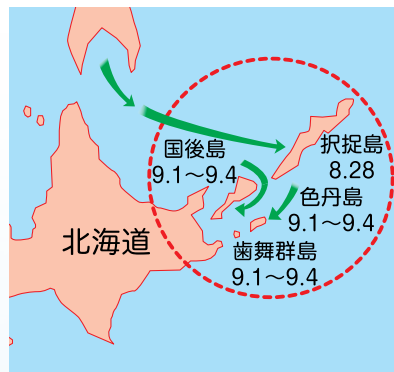
1945年(昭和20年)、ソ連は「日ソ中立条約」を一方的に破棄して対日参戦しました。ソ連軍は終戦後の同年8月28日から9月4日までの間に北方四島を武装解除し、遅くとも9月5日までに全ての島を占拠しました。

■ 島々からの脱出・引き揚げ

北方領土に暮らしていた日本人の約半数はソ連軍の厳しい目をかいくぐって故郷の島々を自ら脱出しました。それ以外の島民はそのまま残りましたが、1947年(昭和22年)からその翌年にかけて劣悪な環境の樺太経由の引き揚げを余儀なくされました。この脱出・引き揚げにおいて多くの尊い命が失われました。

■ 北方領土・周辺海域の状況

ロシアによる不法占拠により、北方領土には日本人は一人も住んでいません。また、道東地域の漁民は豊かな周辺海域から締め出されました。日本漁船がこの海域に入ると、ロシアが容赦なく「だ補」することから大きな脅威となっています。



北方四島からの引き揚げの様子



先人たちが築いた 北方領土

日本が北方領土を含む北方の島々のことを知ったのは、今からおよそ400年以上も昔のことと言われています。これは1615年(元和元年)のことを記した松前藩の「新羅の記録」によって明らかです。1644年(正保元年)、江戸幕府は「正保御国絵図」を編さんするため、諸藩に「国絵図」の提出を命じましたが、このとき松前藩が幕府に提出した自藩領地の地図には「クナシリ(国後)」、「エトホロ(択捉)」など39の島々が書かれています。



正保御国絵図

所蔵: 国立歴史民俗博物館



さらには、1721年(享保6年)、ロシアの探検家が作成した地図には、北方領土の島々が「オストロフ・アポンスキヤ」(日本の島々)と明記されています。

ロシアの勢力は、18世紀初めにカムチャッカ半島を支配した後によりやく千島列島の北部に現れて日本と接触するようになり、1792年(寛政4年)にはロシアの使節アダム・ラクスマンが北海道根室に来訪して日本との通商を求めています。

このようなロシア勢力の進出にともない、幕府は近藤重蔵、最上徳内らに命じ本格的な北方調査を行うとともに、択捉島及びそれより南の島々に番所を置いて、外国の侵入を防ぎ、島々を統治しました。

また、高田屋嘉兵衛は、国後島と択捉島の航路を開拓したり、択捉島に新たな漁場を開くなど島々の発展に貢献しました。



近藤重蔵



最上徳内



高田屋嘉兵衛

シーボルト「NIPPON」より
所蔵: 福岡県立図書館



Check!

北方調査
の際、近藤
重蔵は択捉
島に日本領

であることを示す「大日本豊後国府」と書かれた
標柱を建てました。



北方領土問題についての 政府の基本的立場

- ① 歯舞群島はばまいぐんとう、色丹島しこたんとう、国後島くなしりとう及び択捉島えとろふとうからなる北方四島は、いまだかつて一度も外国の領土となったことがない我が国固有の領土である。我が国としては、我が国固有の領土である北方四島の帰属の問題を解決して平和条約を締結するという一貫した基本方針の下、粘り強い交渉を継続する。
- ② 1993年(平成5年)の東京宣言以降、日露間においては、「北方四島の帰属の問題を解決して平和条約を締結する」という共通の交渉指針を繰り返し確認している。
同宣言は、北方領土問題を、(1)歴史的・法的事実に立脚し、(2)両国の間で合意の上作成された諸文書、及び(3)「法と正義の原則」を基礎として解決するという明確な交渉の指針を示している。
- ③ 北方領土問題の解決に当たって、我が国としては、(1)北方四島に対する我が国の主権が確認されることを条件として、実際の返還の時期、態様については、柔軟に対応する、(2)北方領土に現在居住しているロシア人住民については、その人権、利益及び希望は、北方領土返還後も十分に尊重していく、こととしている。



これまでの外交交渉はこちら

(独立行政法人北方領土問題対策協会WEBページ)



■ 最近の状況

2022年(令和4年)3月、ロシア政府は、ロシアによるウクライナ侵略に関連して日本が行った措置を踏まえ、平和条約交渉を継続しない等の措置を一方向的に表明しました。

その後も交渉再開には応じていませんが、日本政府の方針は、領土問題を解決し、平和条約を締結することです。

日露関係は引き続き厳しい状況にあります。事態の打開に向けてロシア側と粘り強くやり取りを続けています。

また、北方四島交流等事業の再開は、日露関係における最優先事項の一つです。

御高齢となられた元島民の方々の切実なお気持ちに何とかお応えしたいという考えに、いささかも変わりはなく、日本政府は、ロシア側に対し、今は特に人道的な問題である北方墓参に重点を置いて、事業の再開を引き続き強く求めています。



洋上慰霊



北方四島交流等事業とは

領土問題の解決までの間、日本国民と北方四島在住ロシア人との相互理解を促進するための「北方四島交流事業」、北方領土の元島民が故郷の島を訪れ、お墓参りをする「自由訪問」、「北方墓参」の3つを指します。

なお、これらの事業は旅券(パスポート)・査証(ビザ)なしで行っています。

北方四島交流等事業が令和2年度以降実施できていない状況の中、別途の事業として、本事業で使用している船舶「えとぴりか」による洋上慰霊等を実施しています。

北方領土返還要求運動

北方領土問題を解決するためには、私たち国民一人ひとりがこの問題を正しく理解し関心を高め、政府の外交交渉を後押しすることが大切です。

全国各地では大会や研修会、パネル展、署名活動など様々な運動が行われています。

特に2月、8月を「北方領土返還運動全国強調月間」と定め、返還要求運動の更なる盛り上げを図っています。また、1981年(昭和56年)、日本政府は閣議了解により2月7日を「北方領土の日」に決めました。この2月7日は、前述のとおり、1855年(安政元年)、日露両国が両国の国境を平和裏に択捉島とウルップ島との間とした「日魯通好条約」が署名された日です。



北方領土返還祈念シンボル像
四島のかけ橋

若い世代への継承

戦後生まれの世代が日本国民の大多数となったいま、若い世代に北方領土問題の正しい理解と関心を深めてもらうことが大切です。そのために若い世代を対象とした取り組みや、北方領土教育の充実を図るため、教育関係者に対する働きかけを強化しています。



北方領土ゼミナール

Pick up! 考えよう 私たちにできること



北方領土問題は元島民の方々や北海道だけの問題ではなく日本全体の問題です。

皆さんはいつでも返還要求運動に参加することができます。このパンフレットを読んで、知ったこと、学んだことを友人、家族に伝え関心を持ってもらうことも運動の一つです。

北方領土イメージキャラクター

エリカちゃん



北方領土のイメージキャラクター、エリカだピィ！
エトピリカの女の子で、みんなに北方領土について
知ってもらいたくて、うまれたんだピィ♪
それぞれの島に住んでいるお友達と全国を飛び回って
いるから、見つけたら優しく声を掛けてピィ♪



択捉島
エリマルくん

くいしん坊の大食らい
地元食材を使った
料理が得意



国後島
エリオくん

エリカちゃんの
ボーイフレンド
アウトドア好きの
登山家



色丹島
エリヨシくん

植物や鳥など地元自然
の生態に詳しい
ナイフでインドアな
ハカセタイプ



歯舞群島
エリナちゃん

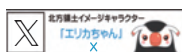
エリカちゃんの親友で
活発な女の子
地元漁師の娘(カニ漁)



<https://www.facebook.com/hoppouyoudo.erika/>



https://x.com/hoppou_erio



https://x.com/hoppou_erika



<https://www.youtube.com/@独立行政法人北方領土>



https://www.instagram.com/hoppou_erika/



独立行政法人 北方領土問題対策協会

〒110-0014
東京都台東区北上野1-9-12
住友不動産上野ビル9階
電話 03(3843)3630
FAX 03(3843)3631
<https://www.hoppou.go.jp/>



発行: 令和7年12月